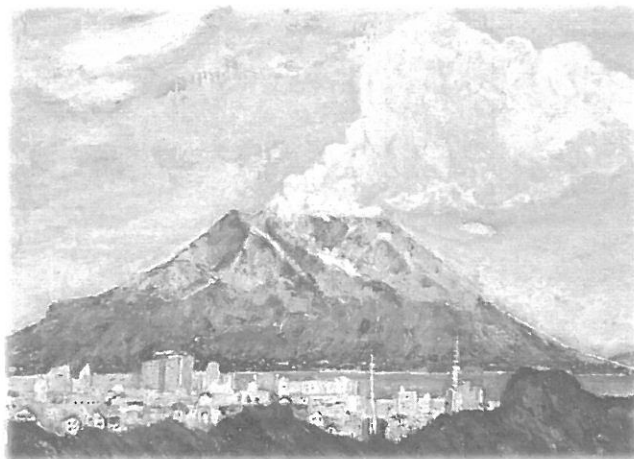


令和5年度
第12回整備検討委員会

学校運営の基本方針について



令和5年7月24日(月)
鹿児島市教育委員会 学校整備室

本日の趣旨・流れ

- ◆桜島に新しく学校ができることの意味
- ◆桜島が目指す人像

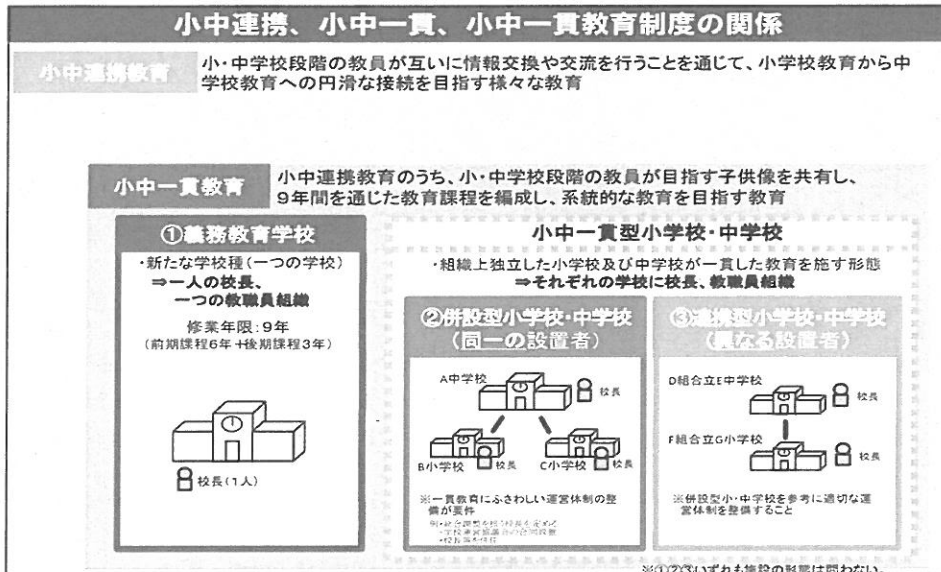
共有

- 1 説明(15分)
 - 桜島に新しく学校ができる意味を考える。
- 2 協議(45分)
 - どんな人に育ってほしいか語り合う。

「義務教育学校」

◆小学校・中学校の組織が一体化(1人の校長、1つの組織)

◆目指す子供像を共有、9年間を通じた教育課程を編成



出典：文部科学省（2016）『小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引』P.20

これからの社会



- ◆Society5.0時代
- ◆変化のスピードが加速度を増す社会
- ◆複雑で予測困難な社会

今もとめられている教育

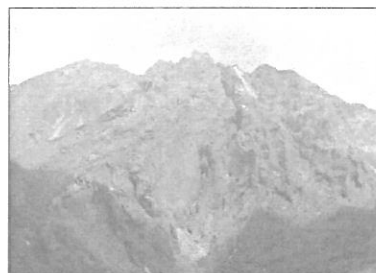
- ◆「資質・能力」の明確化
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現(授業改善)
- ◆「社会に開かれた教育課程」の実現

～学習指導要領より～

- ◆「個別最適な学び」(個に応じた指導、子供目線)
- ◆「協働的な学び」(子供同士、多様な他者と)

～「令和の日本型学校教育」答申より～

桜島地域の現状



◆地域資源

- ・特産品(桜島小ミカン、桜島大根など)
- ・豊富な観光資源(独自の自然環境、景観、温泉など)

◆課題

- ・人口減少、高齢化等による飲食店・観光業等の減少
- ・店舗減少、バス・フェリー減便による利便性の低下

◆今後の方向

- ・目標「地域の活力とにぎわいを創出し、地域住民が桜島地域に住んでよかった、住み続けたいと思える地域を目指します」

～「地域と共に創るまちづくりプラン」(2023年3月策定)より抜粋～

各学校で展開されている教育活動

◆栽培、収穫、販売、見学など
(桜島大根、椿の実、サツマイモ、椿油、びわ)

◆その他

- ・遠行
- ・遠泳大会
- ・お弁当の日
- ・予習型学習
- ・太鼓
- ・他校、他校種との交流活動
- ・湯之平登山
- ・マグマアスリートタイム
- ・埋没鳥居清掃
- ・海洋体験
- ・溶岩焼き



鹿児島の子供たちの学力の状況

◆「知識及び技能」は
全国と同等もしくは
上回っている。

◆「思考力、判断力、
表現力等」、「学び
に向かう力、人間
性等」は、全国を
下回る。

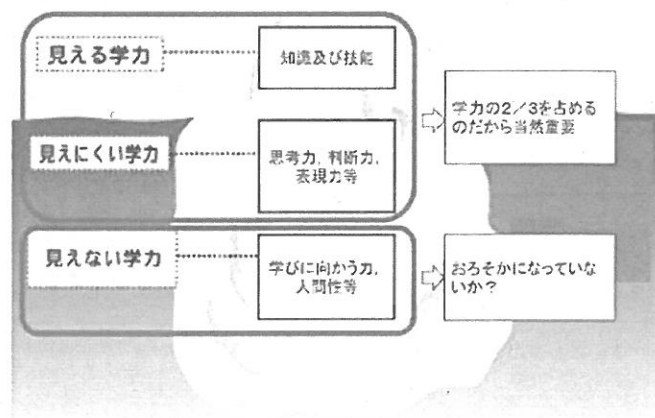


図1 氷山モデルで見たときの学力の捉え (イメージ)

課題と強み

◆特に、
自己肯定感
や挑戦心など
が課題

○「学びに向かう力、人間性等」に関する質問
〔表2〕児童生徒質問紙から（全国との比較）

質問項目	小学校			中学校		
	県平均	全国平均	差	県平均	全国平均	差
自分によいところがあるか。【自己肯定感】	32.4	39.4	-7.0	29.1	36.0	-6.9
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思うか。【自己肯定感】	38.8	46.3	-7.5	32.1	39.9	-7.8
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか。【粘り強さ】	38.5	38.8	-0.3	37.4	36.8	0.6
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか。【挑戦心】	25.7	27.6	-1.9	19.2	21.4	-2.2
自分で計画を立てて勉強しているか。【学びに向かう力】	24.1	27.5	-3.4	14.4	15.4	-1.0
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか。【メタ認知】	33.3	33.2	0.1	24.2	25.6	-1.4

※ 数値は「当てはまる」と回答した割合（%）

◆意識
のずれ

対象	質問	小学校	全国との差	中学校	全国との差
教師	学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行いましたか。	63.5	4.5	56.0	0.8
子供	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。	38.8	-7.5	32.1	-7.8

◆「夢や目標をもつ」「読書がすき」「地域の行事参加」上回る
→保護者や地域が協力的(強み)

出典：鹿児島県教育委員会（令和5年2月）『令和4年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析』

県の中央に位置する桜島。

昔から鹿児島のシンボルとして注目され、愛されてきました。

そんな桜島で、鹿児島市初めての義務教育学校が開校します。

基本設計は完了。すばらしい施設の建設が計画されています。

教育の中身も負けないものにしていきたいものです。

桜島全体を学校に見立て、地域も一緒になって子供を育てていく。

子供だけでなく、大人も行きたくなる。そして、一緒になって学んでいく。

閉校する学校への思い、各地域の思いを忘れない。

子供も大人も、過去も未来もひっくるめて

みんなで作る「桜島まるごと学校」

「教育は桜島から」そんな気概をもって、

学校を、教育をつくっていきましょう。



最近見られる教育

◆オルタナティブ教育(モンテッソーリ、シュタイナーなど)

- ・きのくに子どもの村学園「夢みる小学校」
- ・イエナプラン(異年齢学級、自立学習、インクルーシブ)

◆学びのSTEAM化

- ・ Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics等の各教科の学習を実社会での創造的な問題発見・解決やデザインに生かしていく教科横断的な教育を目指すこと。

◆プロジェクト型学習(PBL、Project-based Learning)

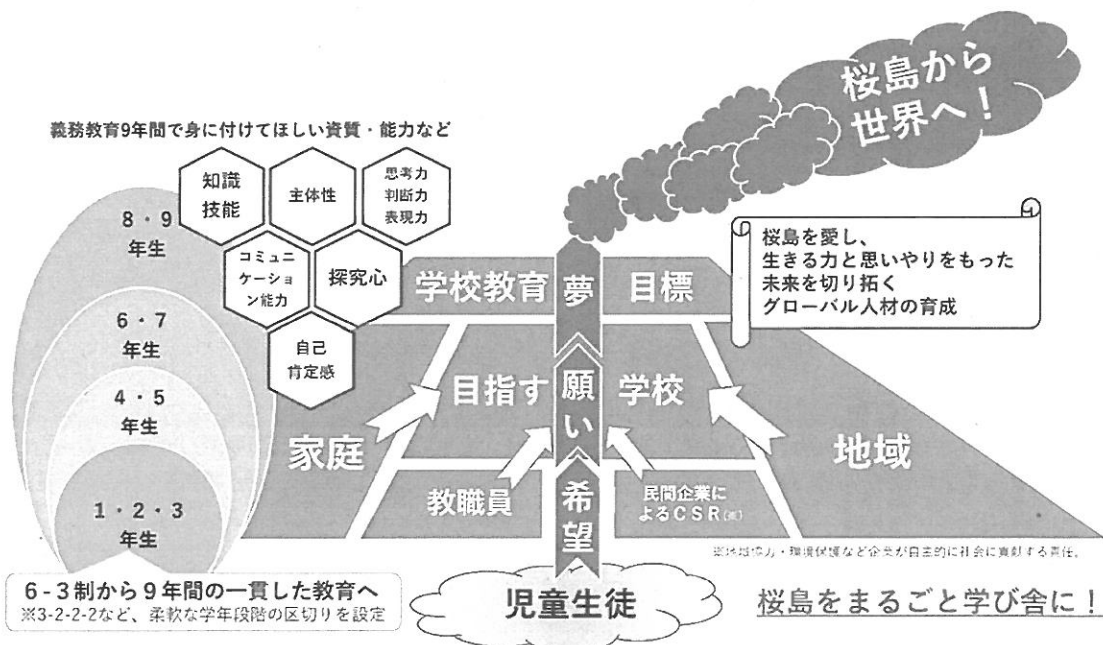
- ・自ら課題を見つけ、課題を協働で解決していく。



◆国際バカロレア教育(IB教育)

- ・国際バカロレア機構(本部:ジュネーブ)国際的な教育プログラムを導入した教育。全人教育を通じて、国際社会で貢献できる人材育成が目的。

小中一貫教育を支える構想図(現在)



学校との連携

中学校区	夏季休業	2月
東桜島中校区	8月28日(月)	21日(水)
黒神中校区	7月31日(月)	16日(金)
桜島中校区	8月21日(月)	9日(金)

- ◆今年度は8月と2月の2回協議する場を設定
- ◆一人一人が教育観、子供観をアップデートしていく場に
- ◆来年度は全ての学校が一堂に会する研修を設定(予定)

現在の基本方針



学校教育目標

桜島を愛し、生きる力と思いやりをもった
未来を切り拓くグローバル人材の育成

目指す学校像

- ・ 子供一人一人の夢を育み、可能性を伸ばす学校
- ・ 子供一人一人が大切にされる、安心・安全な学校
- ・ 子供一人一人の成長を願い、地域とともに歩む学校

目指す子供像

- ・ 夢や目標をもち、学び続ける児童生徒
- ・ 自分に自信をもち、心身ともに健やかな児童生徒
- ・ ふるさと桜島に誇りをもち、貢献しようとする児童生徒
- ・ ICTを効果的に活用でき、発想力と想像力に富む児童生徒

今回の続き(基本構想に係る協議)は、
10月の整備検討委員会で行う予定です。

- ◆前回の整備検討委員会及び学校での協議等についての情報共有
- ◆「身に付けてほしい資質・能力」や「実現していきたい教育」についての協議

よろしくお願ひします。

